

# 生物多様性への取組み

2010年10月に愛知県名古屋市で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)では、生物多様性に関する世界目標となる愛知目標が採択されました。これは、各国がその達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略に反映することを求めるものです。我が国では、2012年9月に閣議決定された「生物多様性国家戦略2012-2020」の中で、我が国の長期(2050年)・短期(2020年)の目標や、愛知目標の達成に向けたロードマップに加え、2020年までに重点的に取り組むべき施策の方向性を示した「5つの基本戦略」を定めています。

用語集を  
ご覧ください

- 生物多様性
- 生物多様性条約  
第10回締約国会議(COP10)
- 愛知目標
- 生態系
- 地球温暖化
- 循環型社会

当社は、この「生物多様性国家戦略2012-2020」の戦略目標にある、多様な主体が生物多様性の保全と持続可能な利用の重要性を認識し、それぞれの行動に自発的に反映する「生物多様性の社会における主流化」の達成に向け、「電気事業における生物多様性行動指針」のもと、生物多様性の保全と持続可能な利用への取組みを継続していくとともに、環境活動を含む事業活動の多くが、生物多様性への取組みに関係・寄与していることについて、社員の理解を深めていくこととしています。



新緑の季節を迎えた坊ガツル湿原(湿原における環境保全活動はP.34参照)

## 生物多様性国家戦略(2012-2020)より抜粋

### 【目 標】

#### ◆長期目標(2050年)

生物多様性の維持・回復と持続可能な利用を通じて、わが国の生物多様性の状態を現状以上に豊かなものとするとともに、生態系サービスを将来にわたって享受できる自然共生社会を実現する。

#### ◆短期目標(2020年)

生物多様性の損失を止めるために、愛知目標の達成に向けたわが国における国別目標の達成を目指し、効果的かつ緊急な行動を実施する。

### 【5つの基本戦略】・2020年度までの重点施策

- 1 生物多様性を社会に浸透させる
- 2 地域における人と自然の関係を見直し、再構築する
- 3 森・里・川・海のつながりを確保する
- 4 地球規模の視野を持って行動する
- 5 科学的基盤を強化し、政策に結びつける

出典：環境省ホームページ

## 「電気事業における生物多様性行動指針」

- 行動指針I. 生物多様性に影響を及ぼす地球温暖化など地球規模での環境影響に配慮した電力供給を目指す
- 行動指針II. 生物多様性に資する環境保全対策に着実に取り組むとともに、社会貢献活動に努める
- 行動指針III. 生物多様性に資する循環型社会の形成に努める
- 行動指針IV. 生物多様性に資する技術・研究開発に努める
- 行動指針V. 生物多様性について地域との連携を進めるとともに、広く生物多様性への取組みに関する情報を発信し共有に努める
- 行動指針VI. 生物多様性に関する社会の意識を深めるよう自発的な行動に努める

出典：電気事業連合会ホームページ



九州電力の環境活動と「電気事業における生物多様性行動指針」との関係については、九州電力ホームページ  
関連・詳細情報(P2参照) > [九州電力の環境活動と「電気事業における生物多様性行動指針」との関係](#)